

保護者様

各務原市立川島小学校
校長 林 健司

令和3年度 学校評価の集計について（ご報告）

保護者の皆様を実施させていただきましたアンケートをまとめましたので報告いたします。この結果をもとに、学校の教育活動の一層の充実を図るよう職員一丸となって取り組んでまいります。また、保護者の皆様からいただいたご意見やご要望につきましては全職員で目を通させていただきます、今後の学校運営の改善を図っています。

【学校・教職員の姿】 学校の教育活動等について

	質問の内容	そう思う	やや思う	あまり思わない	まったく思わない	分からない	肯定的（そう思う+やや思う）	
							今年度	昨年度
1	学校は、学校・学級だより、授業参観、ホームページなどで、学校や子どもの様子がよくわかるように努めている	44%	50%	4%	1%	1%	94%↑	91%
2	教職員は、保護者との連絡を密に行い、保護者とともに子どもを育むように努めている	40%	45%	9%	2%	4%	85%↑	81%
3	教職員は、いじめ防止に努め、よさを積極的に認め励ますなど、一人一人を大切にされた指導を行っている	34%	42%	6%	1%	17%	76%↑	70%
4	教師は、授業を工夫し、子どもに分かりやすいように教え、学力向上に努力をしている	38%	38%	5%	0%	19%	76%↓	78%
5	学校は、学校行事（遠足・運動会など）を工夫し、生き生きとした教育活動を行っている	43%	45%	5%	1%	3%	88%↓	89%
6	学校は、健康で安全な学校生活（けが・病気予防）に努めている	48%	42%	3%	1%	6%	90%↑	87%
7	教室、校舎内、校庭などは、美しく安全に整備されている	41%	46%	5%	1%	7%	87%↑	85%
8	幼保小中学校の連携を積極的に進めている	27%	33%	9%	1%	31%	60%↑	58%

【子どもの姿】 お子様（我が子）の様子について

項目	質問の内容	そう思う	やや思う	あまり思わない	まったく思わない	分からない	肯定的（そう思う+やや思う）	
							今年度	昨年度
明るい笑顔	1 家族や地域の方への明るいあいさつの習慣が身に付いている	25%	48%	21%	4%	1%	74%	74%
	2 温かい言葉遣いが身に付いている	18%	51%	25%	4%	2%	69%↑	64%
	3 友達と仲良くすごしている	49%	43%	4%	1%	2%	92%	92%
	4 学校のきまりや家族や友達との約束を守っている	32%	51%	13%	3%	1%	83%↑	81%
	5 ボランティア活動に進んで取り組んでいる	13%	34%	36%	9%	8%	47%↓	48%
楽しい笑顔	6 意欲的に授業に臨んでいる	26%	49%	15%	1%	8%	75%↓	77%
	7 立腰姿勢（足ピタ・背筋ピン）が身に付いている	15%	34%	35%	7%	9%	49%↓	58%
	8 鉛筆を正しく持って、ていねいに字を書いている	18%	37%	35%	8%	1%	55%↓	59%
	9 積極的に挙手発言ができています	19%	35%	22%	5%	18%	54%↓	57%
	10 タブレットを上手に活用して学習している	29%	46%	17%	5%	4%	75%	—
	11 タブレット・スマホ・ゲーム等、ルールを守って使っている	22%	39%	29%	8.8	1%	61%	—
	12 進んで家庭学習に取り組んでいる	23%	36%	32%	9.4	0.3%	59%↓	64%
元気な笑顔	13 元気よく登校する習慣が身に付いている	45%	40%	10%	4%	0.6%	86%	86%
	14 安全に登下校ができています	42%	45%	8%	3%	3%	87%↑	86%
	15 安全な学校生活を心がけている（けが・コロナ感染予防）	48%	43%	4%	2%	3%	91%	91%
	16 一生懸命そうじに取り組んでいる	38%	37%	8%	1%	16%	75%↓	77%

子どもが成長したと思うこと【保護者】※複数意見

【ともだち】

<生活>

- ・お手伝いを自分からするようになった。
- ・近所の人に大きな声であいさつができるようになった。
- ・困っていることをがまんしないで、自分の言葉で伝えられるようになった。
- ・朝から学校に行くことができるようになった。
- ・友達と楽しく遊べるようになった。

<学習>

- ・算数の計算など、できなかったことができるようになった。
- ・落ち着いて授業を受けることができるようになった。
- ・宿題が落ち着いてできるようになった。

【1年生】

<生活>

- ・朝一人で玄関を出られず泣いていたのに、「いってきます！」と学校に行けるようになった。
- ・朝の準備を一人でできるようになった。
- ・自分の気持ちや学校での出来事を家で話すようになった。
- ・自分から挨拶ができるようになった。
- ・少しがまん強くなった。

<学習>

- ・字を丁寧に書くことができるようになった。
- ・足し算や引き算などの計算ができるようになった。
- ・「授業で発表したよ」と教えてくれて、少しずつ積極性が出てきたと感じた。
- ・家で本を読むようになった。

【2年生】

<生活>

- ・時計を見ながら、自分で朝の準備をできるようになった。
- ・友達とのトラブルが昨年より少なくなって、なかよく遊べるようになった。
- ・家でお手伝いをよくするようになって、家族の中で役立ちたいという気持ちを感じる。
- ・自分からあいさつをするようになった。
- ・自分のことは自分で考えてやるようになった。

<学習>

- ・自分の興味があることに努力して取り組めるようになった。
- ・運動を頑張るようになった。ドッジボールが強くなった。
- ・学びノートを自分なりのやり方を見つけて、進んで勉強するようになった。
- ・宿題を自分からやるようになった。
- ・音読を気持ちを込めて読むようになった。・九九ができるようになった。・字を丁寧に書くようになった。

【3年生】

<生活>

- ・目標に向かって頑張るようになった。
- ・勇気をもってチャレンジしようとする姿が見られるようになった。
- ・自分のことだけでなく仲間のことを考えるようになり、友達とのかかわり方が変わってきた。
- ・学校で学んだルールを自分から守ろうとしている。
- ・自分から進んであいさつをするようになった。

<学習>

- ・自分の意見を発表できるようになった。
- ・興味や関心のあることを、本で調べて進んで学ぶようになってきた。
- ・学びノートで自主学習ができるようになり、勉強が楽しいというようになった。
- ・タブレットを上手に使って学習している。
- ・漢字を丁寧に練習するようになった。

【4年生】

<生活>

- ・人のために何かをするような責任感が出てきた。
- ・自分の感情をコントロールできるようになってきた。
- ・困っている友達に声をかけて助けられるようになった。
- ・他人のことを気遣って行動できるようになった。
- ・挨拶をだれにでもできるようになった。

<学習>

- ・授業で積極的に手をあげられるようになった。
- ・授業で学習したことに興味を持つようになった。
- ・宿題を自分で時間を設定して取り組む姿勢が身についた。・テストに向けて勉強をするようになった。
- ・学びノートで、自分に知りたいことを調べたり、予習したりしながら意欲的に取り組んでいる。
- ・タブレットを使って、プログラミングやプレゼンを作るなど、できることが増えた。

【5年生】

<生活>

- ・高学年になって、下級生の子の面倒をよく見るようになった。
- ・人への感謝の気持ちを持つようになった。また、自分以外の周りのことに気が付けるようになった。
- ・みんなのために自分は何ができるかを考えて行動するようになった。
- ・相手の気持ちを考えながら、自分はどうしたらよいか、悩みながら考えるようになった。
- ・やると決めたことはやれるようになった。

<学習>

- ・宿題に進んで取り組み、テスト前にはテスト勉強もするようになった。
- ・苦手なところを繰り返してやったり、計画を立てて学習したりできるようになった。
- ・学びノートのやり方がだいぶ身につけてきて、進んで取り組むようになった。
- ・学びノートで、自分で考えた内容で取り組むことができるようになった。
- ・タブレットを上手に使うことで学習に積極的に取り組み、自主学習もやるようになった。

【6年生】

<生活>

- ・最高学年として下級生にかかわることで、自分から何かしてあげようという気持ちが自然に出てきた。
- ・自分の気持ちを伝えるだけでなく、ほかの子の意見も聞きながら折り合いをつけていくようになった。
- ・遊ぶだけの友達から、互いを思いやり、信頼関係を築くことができるようになった。
- ・あたたかい言葉かけをできるようになった。
- ・係や委員会の仕事に、責任をもってできるようになった。
- ・自分と向き合おうとしている。・自我が芽生えてきた。

<学習>

- ・学習のポイントを上手にまとめるようになった。
- ・自主学習の時間が増えて、自分から学習するようになった。
- ・自分で目標と内容を決めて、家庭学習を進んでできるようになった。
- ・タブレットを使って、自分が疑問に感じたことを調べるようになった。
- ・学習に意欲的になってきた。

保護者の意見【保護者】※複数意見

<生活>

- ・登下校の仕方が心配。通学班でまとまって登校できていない。「安全な登校」「地域の方へ挨拶」をもっと指導してほしい。通学路の見守りを増やすとよいのではないかな。
- ・あいさつの習慣をさらに身につけることができるように、大人からもしていきたい。
- ・人を傷つける言動が多いと感じる。深刻ないじめにつながらないように指導してほしい。
- ・コロナの影響で行事が制限されているが、来年は、もっとできるようになるとよい。

<学習>

- ・町探検や社会見学などの経験がとても力になっている。今後も体験学習を増やしてほしい。
- ・タブレットを使った学習が家庭でもできるようになるとよい。
- ・タブレットの良さとともに、規則・危険性などの情報モラルについても指導してほしい。
- ・家庭学習について、「学びノート」だけでなく、学習プリントやドリル等の「宿題」も出してほしい。

<教員の指導>

- ・子ども同士のトラブルに丁寧に聞き取りや指導をしていただき感謝している。
- ・子どもの気持ちに寄り添い、気持ちを確かめながら、先生と子どもと関係をつくってもらいたい。

<学校と家庭・地域等との連携>

- ・子どもの様子について、よいこともよくないことも伝えてもらい、気軽に相談できる関係にしていきたい。
- ・PTA が企画してくれた活動が素晴らしいと感じます。いつもありがとうございます。
- ・中学校との連携をもっと進めてほしい。
- ・見守り隊の方には、大変お世話になっている。地域の方とも一緒に活動できる機会があるとよい。

これらの結果を受け、学校として、次のように進めていこうと考えております。

(1) 子どもにとって安全で安心できる学校づくりを一層推進します。

児童の心身の安全・安心を最優先に考え、全教職員で協力して指導にあたります。

特に、安全な登下校について、通学班会を定期的実施して指導を継続するとともに、PTA校外生活委員会と連携して取り組みます。家庭でもお子さんへの朝の声かけをご協力お願いします。

タブレットの正しい使い方についてもご心配の声をいただいています。ルールを守ったタブレットの活用やSNSの危険性など、情報モラル教育についても取り組みを進めます。

また、誰もが安心して学校で生活することができるよう、いじめ等の児童のトラブルの未然防止に取り組むとともに、トラブルが起きたときには、子どもに寄り添った相談支援に努め、学校生活を通じて、互いに安心した生活ができるよう「望ましい人間関係を築く力」を育てていきます。

また、お子様の学校や家での様子について、家庭との連絡をこまめに取りながら、お子様が安心した学校生活を送ることができるよう連携してまいります。

(2) 児童が意欲的に学びに向かう授業づくりを進め、子どもの学力向上に一層努めます。

ICT（タブレット）を効果的に学習に活用して、仲間と学ぶ楽しさを実感しながら、「できた」「わかった」という充実感や満足感を感じられるような授業づくりに取り組みます。

また、「かわまるタイム」での国語や算数の基礎学力定着への取組、4年生からの算数コース別学習、高学年からの教科担任制を引き続き行い、学力のより一層の向上を図ります。

子どもが、自ら学ぶ力の育成を目指す「学びノート」については、学年に応じて取り組み方を指導して、内容が充実するよう指導します。また、授業で学んだ内容の定着を図るための「ドリル」等の宿題も実施するようにします。

小学校段階においては、家庭でも、学習時間の確保と定着への見届けを丁寧にしていただくことが、お子さんの学力獲得のために大切です。ご協力をお願いします。

(3) あいさつ活動に取り組み、明るく元気な学校づくりを進めます。

川島小の子どもたちのよさである「明るいあいさつ」の一層の向上を目指します。

あいさつは、自分と相手がつながる大切な手段であり、自他を尊重する人権教育の観点からも大変重要なコミュニケーション能力の一つです。

仲のよい友達だけでなく、学級・学校の先生や仲間、家族や地域の方などに、自分から進んであいさつをすることができるよう、児童会を中心に、子どもたちとともに、明るいあいさつの習慣を身につけるよう取り組みを進めます。

(4) 仲間と活動する楽しさを実感できる行事を工夫して行い、みんなが活躍できる学級・学校づくりを進めます。

コロナ感染防止に努めながら、遠足、運動会、合唱交流会、野外学習、社会見学などの学校行事や体験学習など、仲間とともに活動する楽しさを実感できるよう工夫して取り組みます。

そして、学級活動や児童会活動を活性化し、学級や全校の仲間に自ら進んで働きかけ、仲間と共によりよい生活を創り出すことを通して、みんなが活躍し、よさや成長を実感できる学級・学校づくりを進めます。

(5) 川島中と連携を一層密にして、小中9年間を通じた児童・生徒の育成に取り組みます。

川島小・中学校は、市内唯一の一小一中の校区として、川島学園構想のもと、川島ライフデザインセンター、かわしま学びの庭・育ちの庭、川島東こども園、川島中学校と連携して、「人間力」の育成に取り組んでいます。

このたび、令和4年度からの3年間、文部科学省から「人権教育総合推進地域」の指定を受けました。これにより、教員の交流を始め、児童会・生徒会活動の合同実施など、小中連携を一層密にして、9年間を通じた「自他を思いやる児童・生徒」の育成に取り組みます。